

市長総括説明から

12月1日、平成20年第5回市議会定例会が開会しました。

はじめに、「第10回ラムサール条約締約国会議(COP10)」関連行事への参加と「たんだん温泉福寿の湯」入湯者3万人達成の報告をした後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて、説明しました。

その概要をお知らせします。

安全に安心して

暮らせるまち

○円山川緊急治水対策事業

八代・小河区の掘削土砂の受入地工事は、10月9日から休止していましたが、11月10日に再開されました。また、新たな受入地として岩井区が選定され、協議が進められています。

築堤工事は、一日市から小田井区の間で工事が進み、中郷区では、平成21年度の事業着手にめどが付きましました。

内水対策は、八代排水機場

が着工され、六方川、鎌谷川の防水堤工事も進んでいます。

稲葉川土地区画整理事業は、都市計画決定の変更が生じたため、仮換地指定が平成21年の中ごろになる見通しです。

○豊岡市老人福祉計画・第4期介護保険事業計画策定

現在、豊岡市老人福祉計画・第4期介護保険事業計画策定委員会にて検討中です。

今後、国・県と調整して中間報告案を取りまとめ、市民の皆さんの意見をいただき、本年度末の計画策定を目指しています。

人と自然が共生するまち

○コウノトリの

野生復帰の推進

ハチゴロウの戸島湿地の整備については、湿地内人工巢塔のヒナの巣立ちを待つて本格的な工事を始めました。予想以上の軟弱地盤のため、工事が遅れています。来年度2月からの繁殖シーズンに間に合うよう、湿地内にエサ場となる湛水域を確保したいと考えています。

指定管理者については、10月に募集を行い、今期議会に指定管理者の指定議案を提出

しています。

○広域ごみ・汚泥処理施設

整備事業

森本区・坊岡区では、「ごみ処理施設検討委員会」が設置され、施設整備を契機に区内のまちづくり課題の解決に向けた取り組みが進められようとしています。

北但行政事務組合では、地域振興関連の基本協定を両区と締結後、本格的な事業実施を図ることとし、生活環境影響調査は、できるだけ早く着手すると聞いています。

持続可能な「力」を

高めるまち

○山陰海岸ジオパーク

山陰海岸を世界ジオパークネットワーク加盟候補地として申請しましたが、日本ジオパーク委員会の審査で選定を受けられませんでした。

委員会からは、「高価値の日本海形成の地形・地質遺産を有し、多様な火山岩・柱状節理、堆積海岸と侵食海岸の対称は、アピールできる」などの評価を受けましたが、「価値ある遺産をジオツーリズムに活かす準備ができておらず、拠点施設の展示充実やジオツ

アーの実績が必要」など、改善点の指摘も受けました。

今後は、山陰海岸ジオパーク推進協議会で、指摘事項の改善に努め、学術顧問会議の充実を図り、再度の申請に向けて取り組みます。

○兵庫県大型観光交流

キャンペーンの取組み

兵庫県大型観光交流キャンペーン推進協議会で10月にガイドブックを作成し、全国展開しています。

また、12月6日から毎週土・日・月曜日に、JR城崎温泉駅を出発し、玄武洞、県立コウノトリの郷公園、出石を回ってJR豊岡駅に着く周遊バスが運行されます。

市でも、各地の旅行代理店を訪問したり、JRや観光協会・旅館組合などと連携し、「名探偵コナンミステリーツアー」の実施に向けた準備を進めています。

キャンペーンが終了する平成21年7月以降も視野に入れ、多くの誘客と観光地としての知名度アップを図れるように努めます。

○豊岡市商店街の

空き店舗出店者への支援

豊岡駅通商店街は、近年店

舗閉鎖が進み、活力の低下が進んでいます。そこで、空き店舗に出店する方に最大2年間家賃を補助する「豊岡市空き店舗出店者支援事業」を創設し、商店街の活性化を図りたいと考えています。

○中小企業支援対策

中小企業者への支援策として、売上げ減少により、市の制度融資を活用した場合、借入れ利息の1パーセントを利子補給する制度を10月1日からスタートさせました。11月末現在における今年度の中小企業融資申請実績は、短期、長期合わせて合計81件、融資総額4億7,946万円で、既に平成19年度実績を上回っており、特に、利子補給制度の創設後は利用者が急増しています。

市では、利子補給制度の要件を緩和し、中小企業者の支援の充実を図りました。

○都市計画区域の見直し

本市は、4つの都市計画区域が指定されていますが、県では、都市計画区域を1つにする方針で見直しが行われています。

市では、市域全体が都市計

画区域に指定されることが望ましいと考え、平成19年1月から、都市計画区域の見直し説明会を行い理解を得ました。

新しい都市計画区域の指定は、平成21年度の予定です。
○高規格道路の整備状況
北近畿豊岡自動車道の八鹿豊岡南道路は、本年度に地元協議を終え、平成21年度には用地測量が行われる予定です。

また、最終区間となる豊岡南インターチェンジ以北の豊岡道路は、9月に環境に配慮した概略ルート推奨案がまとめられ、現在、概略計画が進められています。

一方、鳥取豊岡宮津自動車道では、東浜居組道路が11月24日に開通し、余部道路は建設が進み、浜坂道路も本年度事業化の検討が進んでいます。
○JR豊岡駅前広場整備事業
平成23年度の完成を目指し、現在、広場詳細設計・物件補償調査・用地測量を関係機関と調整し進めています。また、駅前広場公衆トイレ建築工事は、本年度末に完成予定です。

なお、今期議会には土地の追加取得に関する補正予算を提出しています。

○市営バス「イナカー」の運行状況
全但バスの路線休止対応として、10月1日から市営バス「イナカー」の運行を開始しました。10月の利用者は9、490人でしたが、一般利用者が約3割で、1便当たりの利用者が1人未満の路線もありました。実証運行期間後も運行を継続するためには、一般利用者の増加が不可欠です。今後、利用促進を図っていきます。

■未来を拓く人を育むまち
○幼稚園・保育所のあり方の検討状況
市教育委員会では、「豊岡市における今後の幼稚園と保育所のあり方」について、豊岡市幼保対策審議会から12月1日に答申を受けます。

今後、市民の皆さんの意見を聞き、「幼稚園・保育所のあり方に関する計画」を平成21年8月ごろに策定したいと考えています。

■市政の運営
○新庁舎建設
新庁舎建設市民検討委員会から、「建設位置は現在地」とする内容を盛り込んだ「新庁

舎建設に関する検討結果報告書」の提出を受けました。

今後、市民の皆さんの意見を聞き、12月中に建設位置を含めた基本構想を策定し、本年度末には基本計画を策定したいと考えています。

また、現庁舎をどうするかについても、しっかりとした議論を踏まえて結論を出したいと考えています。

○住民基本台帳カードの無料化
現在は有料で交付していますが、平成20年度から3年間で特別交付税措置されますので、来年1月から平成23年3月まで交付手数料を無料にするこ

ととし、関係条例を今期議会に提出しています。

○竹野北前館の改修
老朽化と塩害が進む竹野北前館の空調設備と給湯設備、レストラン、厨房、温泉施設、売店などを改修します。改修では、熱源を電気や太陽熱に変え、低炭素化とランニングコストの低減を図り、体験型環境旅行「たけのスタイル」の推進拠点化を図ります。

今期議会に過疎地域自立促進計画の変更ならびに実施設計委託料、工事請負費などを内容とする債務負担行為に関する補正予算を提出しています。

○道の駅「神鍋高原」周辺施設あり方検討委員会の設置
道の駅「神鍋高原」周辺施設は、神鍋高原の観光振興、活性化を図る拠点施設です。市では、外部有識者からなる検討委員会を設置し、来年1月末をめどに、道の駅「神鍋高原」周辺施設の財産の所有形態と経営形態など、基本的な方向付けと、施設ごとの具体策について検討します。

○市立養護老人ホームの民営化
市立養護老人ホーム「コスモス荘」は「社会福祉法人北但社会福祉事業会」へ、「ことぶき苑」は「社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団」への移譲が決定しました。

今期議会には、市立養護老人ホームの設置・管理条例を廃止する議案を提出しています。

なお、正規職員は配置転換を行うこととし、臨時・嘱託職員で移譲先法人での雇用を希望する職員については、希望をかなえられるよう移譲先

と協議しています。

○時間外勤務の縮減対策
10月から、新たな時間外勤務縮減対策を実施しています。10月分の実績は、昨年同月の比較で、正規職員分の全庁合計時間数がマイナス約4、300時間、率でマイナス約38パーセント、また、手当支給額ではマイナス約1、014万円、率でマイナス約38パーセントと大幅に減少しました。

○15カ月予算
工事等発注時期の年度内平準化や早期完成による市民サービスの向上などを図るため、年度の切れ目なく執行できる15カ月予算編成を考えています。

具体的には、平成21年度度実施予定の市単独事業の一部に今期議会でも債務負担行為を設定し、本年度は契約までの事務を行い、支払いは平成21年度に行います。本年度の支払いがゼロであることから、ゼロ市債と呼ばれ、新年度に直ちに着工でき、早期の完成が図れます。

今回ゼロ市債を設定するのは一般・特別会計合わせて、13件、1億370万円です。

※市ホームページに「市長総括説明」の全文を掲載しています。